

第2回流星スペクトル研究集会報告

前田 幸治

日時：2020年5月4日（月）開場9時30分、開始10時、終了18時20分

場所：Web会議方式（Zoom会議室）、参加者：約40人（申し込みは36人）

内容：2019年3月8日に行われた流星スペクトル研究集会（報告は天文回報922-26）では、10件以上の研究発表が行われ、最近の流星スペクトルの研究の拡がりを確認できました。今回は、コロナウイルスの影響で急速に普及したweb会議システムを使って開催しました。また、趣向を少し変えて、流星スペクトル研究で、重要な論文の輪読を中心に行い、お互いに勉強しました。後半は、研究発表を5件行いました。この内容は、集録（電子版のみ）を作成するので、そちらを参考にして下さい。

プログラムと発表者は、以下の通りです。

会議室開場（Zoomテスト含む）

開催の挨拶

参加者自己紹介

1. 流星スペクトル観測について（司会：藤原）

「流星スペクトル観測研究について」海老塚 昇

観測方法紹介 藤原 康德

用語解説 前田 幸治

2. 論文輪読（司会：前田）

輪読論文

V. Vojáček, J. Borovička, P. Koten, P. Spurný and R. Štork

"Catalogue of representative meteor spectra" A&A 580, A67 (2015)

https://www.aanda.org/articles/aa/full_html/2015/08/aa25047-14/aa25047-14.html

abstract + 1. Introduction 前田 幸治

記念撮影1、食事休憩

論文輪読（続き）

2. Observations and equipment + 3. Data reduction 藤原 康德

4. Description and classification of the spectra

4.1 Description of the spectra 海老塚 昇

4.2 Classification of spectra 永井 和男

5. Meteoroid orbits 関口 孝志

6. Catalogue + 7. Conclusions 斉藤 啓子

記念撮影2

3. 研究発表

(司会：海老塚)

阿部 新助 「(3200)ファエトン起源「ふたご座流星群スペクトル」のナトリウム変動 Sodium Variation in Geminid Meteoroids from (3200) Phaethon」

関口 孝志 「2019年12月のふたご群のスペクトル解析結果」

永井 和男 「2020年のおとめ座 η 群のスペクトル観測」

前田 幸治 「暗いスペクトルをたくさん撮るためのレンズ選び」

藤原 康徳 「室生観測所での遠隔ビデオ流星観測システムについて(紹介)」

閉会の挨拶

閉会

閉会後には、19時から「オンライン懇親会」を行い約17人が参加しました。ここでは、研究発表で時間が足りずに話せなかった点の詳しい説明や、質問が継続して行われ、夜が更けていきました。

なお、今回の集会は3月末に行われた「彗星夏の学校 2020 Zoom」の開催方法や、運営を参考にさせて頂いています。感謝します。

スタッフ：前田 幸治、永井 和男、藤原 康徳、海老塚 昇、関口 孝志、斉藤 啓子、川崎康寛

なお、集録は、以下の日本流星研究会のHPに掲載させてもらう予定です。

<https://www.web-nms.com/>